

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

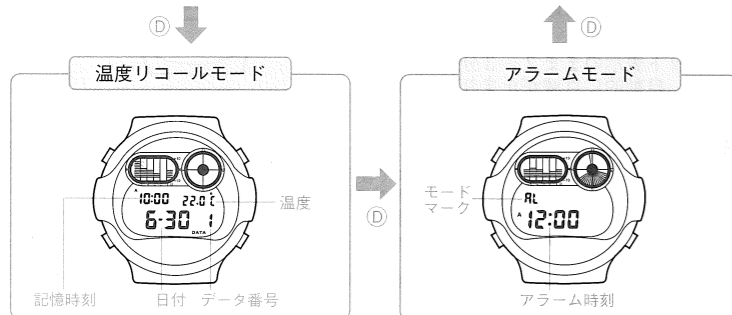
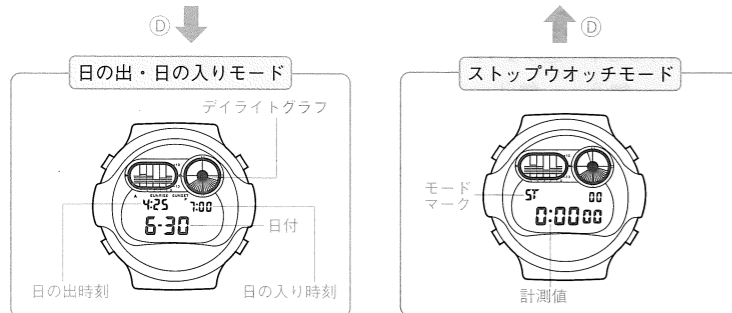
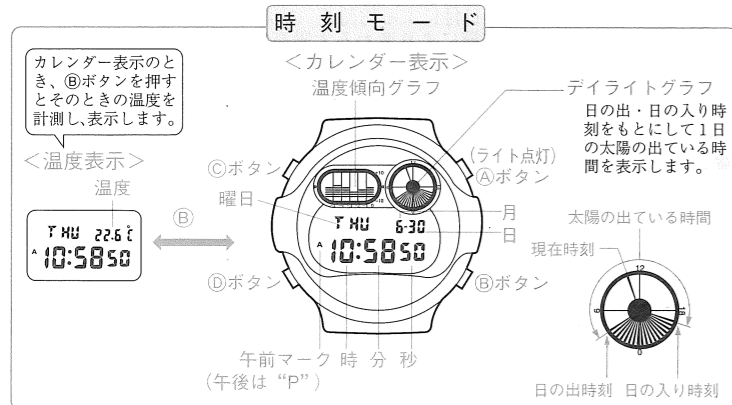
記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご購入のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。 ※各モードでその機能を使用したあとに①ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。



製品仕様

- 水晶発振周波数: 32,768Hz
- 常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
- 動作温度範囲: -20.0~60.0℃
- 基本機能: 時刻表示~時・分・秒、午前(A)/午後(P)/24時間制表示、カレンダー表示~月・日・曜日、フルオートカレンダー(1990~2029年)日の出時刻/日の入り時刻表示、デライトグラフ表示、日の出・日の入り機能: 日の出時刻・日の入り時刻表示、デライトグラフ表示、日付順送り表示機能付
- 温度計測機能: 計測範囲=-20.0~60.0℃ 表示単位=0.1℃ 常時温度計測(2分毎)、温度メモリー機能(最大30本)、温度メモリー間隔セット(4種類)、温度メモリーリコール機能、温度調整機能(±9.9℃)
- 温度計測精度: ±2℃以内(10~40℃のとき)、±3℃以内(-20~9℃および41~60℃のとき)
- アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に2回電子音で報時
- ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計) 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
- その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、ライト
- 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
- 使用電池: CR-2016(電池別途販売)
- 電池寿命: 約3年(1日あたりライト1秒間、電子音を20秒間使用した場合)

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。なお、月に1度くらい秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

準備: セット表示にする

時刻モード<カレンダー表示>のときに、

①ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

★このとき、①ボタンを2回押すと点滅が止まります。

※点滅表示のまま、2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

時刻モード<カレンダー表示>



●時・分・年・月・日・曜日のセット

(1)「秒」が点滅しているとき、

①ボタンを押します

①ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

秒 時 分 年 月 日 曜日



★12/24時間制表示切り替え 秒、時、分のいずれかが点滅しているときに①ボタンを押すと、12時間制表示(A/P)と24時間制表示(24)とが切り替わります。

●秒のセット...±30秒以内の遅れ/進みの調整

「秒」が点滅しているとき、

時報に合わせて①ボタンを押します

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって「00」秒になります。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

★秒合わせ後、①ボタンを2回押すと点滅が止まります。



(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき、

①ボタンを押します

→①ボタンを押すと、数字が進み、押し続けると早く進みます。

(1)~(2)の操作をくりかえし、時・分・年・月・日・曜日を合わせます。

★「時」のセットのとき、午前(A)/午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。

★「年」は西暦で1990~2029年までセットできます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

(3)すべてのセット終了後、①ボタンを2回押します。

→15秒間の計算表示の後、点滅が止まります。



アラームの使い方

時刻モードのときに①ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻のセットのしかた

(1) セット表示にする

アラームモードのときに、

①ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅し、「ALM」が点灯します。

★このとき、①ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇄「分」で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

※点滅表示のまま、2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき

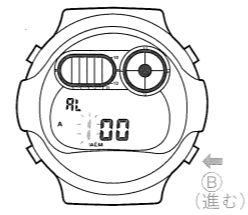
①ボタンを押します

→①ボタンを押すと、数字が進み、押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)にご注意ください。

★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) セット終了後、①ボタンを押すと、点滅が止まります。



●アラーム・時報のON/OFF設定

~アラーム・時報を鳴らしたいとき、鳴らしたくないときの設定方法~

アラームモードのときに、

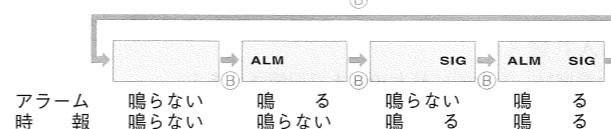
①ボタンを押します

→①ボタンを押すごとにアラームマーク(ALM)、時報マーク(SIG)が点灯/不点灯をくりかえします。

★アラームを鳴らしたいときは「ALM」、時報を鳴らしたいときは「SIG」を点灯させます。それぞれのマークを消しておく、アラーム・時報は鳴りません。

●鳴っている電子音を止めるには

①②③いずれかのボタンを押します。



ストップウォッチの使い方

時刻モードのときに①ボタンを4回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。

●計測のしかた

①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

★計測中①ボタンを押すと、スプリット計測となり、もう一度①ボタンを押すとスプリットが解除されます。(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後①ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※①・②ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。



●通常計測

※積算計測...ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着同時計測

スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット (1着タイム表示)

ご使用上の注意

防水性 ●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗面、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

●専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防水構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿度の高い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビ割れなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

●自動車ダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがありますのでご注意ください。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

●磁気の影響はありません。

●腐食や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れ ●「サビ」

を避ける ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。 ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。 ※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。 ※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。 ※電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなった」「消えたり」します。

電池交換 ●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。 ●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。 ●電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎると数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

温度計測について

本機には温度センサーが内蔵されており、常時2分おきに時計内部の温度を計測し、時刻モード<温度表示>で表示します。また、あらかじめ設定した時間の温度を記憶する温度メモリー機能もついています。

●温度表示にするには

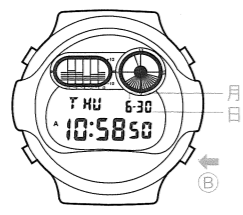
時刻モード<カレンダー表示>のとき、

(B)ボタンを押します

→<温度表示>となり、そのときの温度を計測/表示します。以後2分おきに温度を計測/表示します。

※場合により2分おきに計測しないことがあります。故障ではありません。

時刻モード<カレンダー表示>



(B) ↑ ↓ (B)

時刻モード<温度表示>



●温度表示の見方

現在温度は0.1℃単位で表示されます。(右図参照)

※温度の表示範囲は-20.0~60.0℃です。この範囲を超えると“- - -℃”と表示されます。温度が表示範囲内に戻ると、通常に表示します。

★温度傾向グラフの見方

現在温度(右端)を基準として、毎正時の温度データ(過去5時間以内)と比較し、その差を2℃単位で表示します。(1目盛=2℃となります)

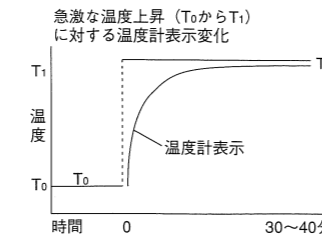
●ご注意

温度センサーは、時計に内蔵されているため、本機に表示される温度は時計自体の温度となります。急激な温度変化が起きても、その温度を表示するまで(時計内部の温度がその温度になるまで)約30~40分程度かかります。また、体温(腕につけているとき)、直射日光、水滴等の影響を受けますので、正確な温度を計測する場合は、時計を腕からはずし、風通しのよい日陰で水滴をよくふきとってから計測してください。

<参考> 以下の場合、正確な温度を表示しないことがあります。それぞれのグラフを参考にして温度の目安にしてください。

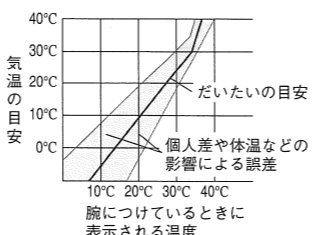
●急激な温度変化があった場合

時計自体の温度が実際の温度と同じになり、正確な温度を表示するまで約30~40分程度かかります。



●腕につけたままで温度(気温)を計測する場合

本機を腕につけているときは、体温などの影響により正確な温度を計測できないことがあります。



■温度メモリー

●記憶する時間の間隔を選ぶ

工場出荷時(電池交換後)は1時間(1:00)がセットされています。他の間隔(10分、3時間、24時間)に変えたいときは以下の手順で行なってください。

準備: (D)ボタンを押して、温度リコールモードにします。

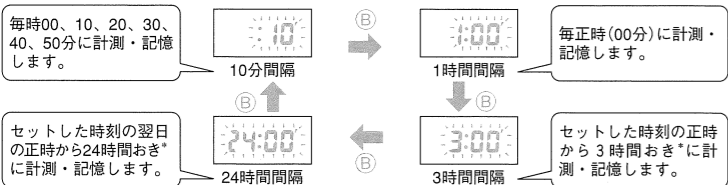
(1) 温度リコールモードのとき、

(C)ボタンを押します

→間隔時間が点滅します。

(2) **(B)ボタンを押します**

→(B)ボタンを押すごとに間隔表示が以下のように切り替わりますので、お好きな間隔を選び、表示させます。



※例えば、午前8時48分に“3:00”に間隔を変えたときは、午前8時から3時間後の午前11時から3時間おきに温度を記憶していきます。また同じ時刻に“24:00”に間隔を変えると、翌日の午前8時から24時間おきに温度を記憶します。

(3) 間隔を選びましたら、

(C)ボタンを押します →温度リコールモードに戻ります。

※以後、選んだ間隔で温度を記憶していきます。※セット表示のままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、温度リコールモードに戻ります。

■温度調整のしかた

本機は工場出荷時に温度調整してありますので、温度調整を行なう必要はありません。ただし、本機が表示する温度が、信頼ある正確な温度計の表示する温度と大きく異なるときは、以下の手順で温度調整を行なってください。

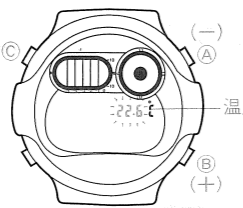
準備: **「●温度表示にするには」**を参照して時刻モード<温度表示>にします。

(1) <温度表示>のとき、**(C)ボタンを押します** →温度が点滅します。

(2) 温度値のセット

(B)または(A)ボタンを押します

数字を進めるときは(B)ボタン、戻すときは(A)ボタンを押します。※いずれも押すごとに0.1℃ずつ進み、押し続けると早く進みます。※調整できる範囲は、表示している温度の±9.9℃以内となります。



●記憶された温度を見る

温度リコールモードのとき、

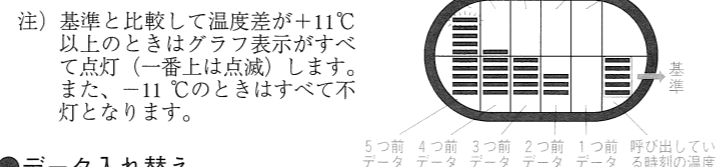
(B)ボタンを押します

→(B)ボタンを押すごとに最新のデータ(データ番号1)から1つずつ前のデータを表示していきます。

※(A)ボタンを押すと逆方向に進みます。(B)・(A)ボタンとも押し続けると早く進みます。

●温度リコールモードでの温度傾向グラフは

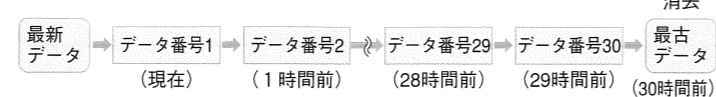
グラフ右端の温度を基準として、それ以前に記憶された温度と比較し、その差を2℃単位で表示します。



●データ入れ替え

計測した温度は、自動的に最大30本まで記憶されます。記憶数が30を超えると、データ番号1に最新データが記憶され、以後、順番に番号がくり上がり、一番古いデータ(データ番号30)が消えます。※温度データを任意に消すことはできません。

例: 間隔を“1:00”にしているときは、常に過去29時間分の温度データが記憶されていることとなります(下図参照)。



★誤ってセットしてしまったら

温度が点滅しているとき、

(A)・(B)ボタンを同時に押します →工場出荷時に調整してある基準温度に戻ります。

(3) セットが終わりましたら、

(C)ボタンを押します →点滅が止まり、<温度表示>に戻ります。

※セット表示のままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、温度表示に戻ります。

■温度調整時のご注意

- 信頼できる正確な温度計と比較して行ってください。
- 本機を腕からはずし、30分以上放置して温度を安定させてから行ってください。
- セット操作は速やかに行なってください。体温の影響により温度が変化してきます。

日の出・日の入り時刻の見方

日の出・日の入りモードでは、今日および任意日の日の出・日の入り時刻を見ることが出来ます。

●今日の日の出・日の入り時刻を見る

時刻モードのとき、

(D)ボタンを押します

→日の出・日の入りモードとなり、今日の日の出・日の入り時刻を表示します。

日の出・日の入りモード

デライトグラフ



●好きな日の日の出・日の入り時刻を見る

今日の日の出・日の入り時刻表示のとき、

(A)または(B)ボタンを押します

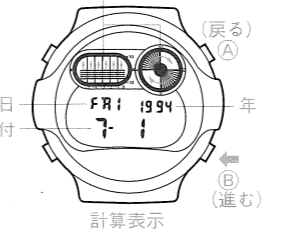
(B)ボタンを押すと1日ずつ進み、(A)ボタンを押すと1日ずつ戻ります。

※(A)・(B)ボタンとも、押し続けると日にちが早く進み(戻り)ます。

★(A)・(B)ボタンを押して日にちを選ぶと、グラフ部が点滅する計算表示となります。約15秒後に日の出・日の入り時刻を表示します。

★日の出・日の入り時刻を見終わりましたら、(D)ボタンを押すと、時刻モードに戻ります。

点滅します



■使用場所のセット(緯度・経度・時差セット)

本機では日の出・日の入り時刻を計算するために緯度と経度および世界標準時を基準とした時差をあらかじめセットする方式を採用しています。セットは一度行えば再びする必要はありませんが旅行や引っ越しなどで大きく移動した場合はその場所の緯度・経度(海外のときは時差も)をセットし直してください。

(1) 時差のセット

時刻モード<カレンダー表示>のとき、

(C)ボタンを2回押します

→時差が点滅します。

★このとき、(B)ボタンを押すと時差が1時間ずつ進み、(A)ボタンを押すと1時間ずつ戻りますので、時差を合わせます。いずれも押し続けると早く進みます。

(2) 経度のセット

時差が点滅しているときに、

(D)ボタンを押します

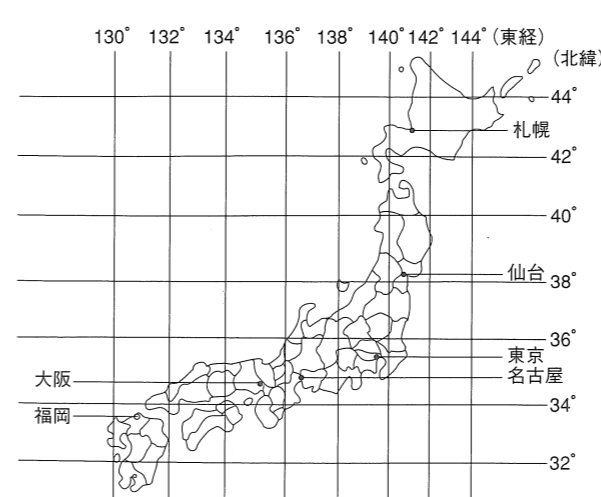
→経度が点滅します。

★このとき、(A)・(B)ボタンを押すとそれぞれ以下のように表示しますので、経度を合わせます。いずれも押し続けると早く進みます。

←(B) ←(B) ←(B)
←(A) ←(A) ←(A)
←180° E ~ 0° E ~ 179° W (E:東経、W:西経)

<参考>

日本の緯度・経度



時差と緯度・経度

都市名	標準時差	DST	経度	緯度	都市名	標準時差	DST	経度	緯度
バコガ	-11	-9	173° W	14° S	ハンブルク	+1	+2	10° E	54° N
パピート	-10	-9	150° W	21° N	ストックホルム	+1	+2	18° E	59° N
アシカ	-8	-7	115° W	36° N	フランクフルト	+1	+2	9° E	50° N
ロサンゼルス	-8	-7	118° W	34° N	ウィーン	+1	+2	16° E	48° N
サンフランシスコ	-8	-7	122° W	38° N	カイロ	+2	+3	31° E	30° N
ラスベガス	-8	-7	115° W	36° N	アテネ	+2	+3	24° E	38° N
バンクーバー	-8	-7	123° W	49° N	ヘルシンキ	+2	+3	25° E	60° N
シヤトル	-8	-7	122° W	48° N	イスタンブール	+2	+3	29° E	41° N
アンワ	-7	-6	106° W	32° N	ベルリン	+1	+2	13° E	52° N
エルバートン	-7	-6	106° W	32° N	ソウル	+8	+9	127° E	38° N
シカゴ	-6	-5	88° W	42° N	クアラルンプール	+7	+8	102° E	3° N
ヒューストン	-6	-5	95° W	30° N	ジャカルタ	+7	+8	107° E	6° S
ニューオーリンズ	-6	-5	90° W	30° N	バンコク	+7	+8	100° E	14° N
メキシコシティ	-6	-5	99° W	19° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
サンアントニオ	-6	-5	74° W	45° N	香港	+8	+9	114° E	22° N
リオン	-4	-3	4° W	46° N	シンガポール	+8	+9	104° E	1° N
サンフランシスコ	-8	-7	122° W	38° N	リンドン	+8	+9	121° E	31° N
マイアミ	-5	-4	80° W	25° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
ボストン	-5	-4	71° W	42° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
パナマシティ	-5	-4	80° W	9° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
リマ	-5	-4	77° W	12° S	台北	+8	+9	121° E	25° N
カラカス	-4	-3	67° W	10° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
サンパウロ	-4	-3	74° W	23° S	台北	+8	+9	121° E	25° N
リオデジャネイロ	-3	-2	43° W	23° S	台北	+8	+9	121° E	25° N
サンパウロ	-4	-3	47° W	24° S	台北	+8	+9	121° E	25° N
ブラジリア	-3	-2	48° W	16° S	台北	+8	+9	121° E	25° N
アテネ	+2	+3	25° E	38° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
ロンドン	+0	+1	0° E	51° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
パリ	+1	+2	2° E	48° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
東京	+9	+8	139° E	35° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
大阪	+9	+8	135° E	34° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
名古屋	+9	+8	137° E	36° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
福岡	+9	+8	138° E	34° N	台北	+8	+9	121° E	25° N
アムステルダム	+1	+2	4° E	52° N	台北	+8	+9	121° E	25° N

※この表は1993年12月現在作成のものです。時差はグリニッジ標準時(協定世界時: UTC)を基準としたものです。DSTとはサマータイムのことです。Daylight Saving Timeの略です。また、DSTの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご確認ください。